地球を守っているもの

沖縄県　伊是名中学校　二年　前川　結海

緑あふれる山。涼しげに青空を泳ぐ鳥。覗けば、自分の顔が写るほど透き通った海。辺りを見渡せば水平線が見える、私たちの住む離島には、コンビニエンスストアやショッピングモールがない。そんな島でも、みんなが普通に使用しているものがある。それが、トイレやお風呂、料理、生活の中にあるもの全てを支えている水だ。そんな水を、私たちは軽く考えて使用していないだろうか。

三年前の夏休みに、私は水がお金よりも価値のある貴重品だと実感した。私たちの島は台風の影響により、一週間近く断水した。その影響で、お風呂の代わりに女性は汗拭きシートを使ってしのぎ、男性は雨が降っているときにシャンプーで済ませていた。また、トイレは断水する前に浴槽に溜めた水を使用するという、断水のときにしかしない貴重な体験をした。普段すぐに使えた水がとても高価な存在となる。そんな時は、いつもより節水を心がける。ほんとは普段からすべきことだが、当たり前にあると思っている私たちは、そこまで日常的に節水を心がけていない。台風や、雨がなかなか降らない季節は、断水に追い込まれてしまうため、現在は海水淡水化もおこなっているが、水の使用量の増加により断水を防げない状態だ。

この水不足という課題は、学校の授業にも影響を与えている。それが、私の好きな授業の一つでもある、プールだ。夏の火照った身体を毎年冷やしてくれるプール授業だが、たくさんの水を使ってしまうため、水不足の課題が上がっているこの島では、簡単におこなうことができない。またこの島は、夏になると日差しが強い猛暑になるため、水分補給がとても大事だ。私は、水分をとっているつもりでも、毎年のように脱水症状でふらついてしまう。それほど、日差しが強く危険だ。脱水症状が酷くなりすぎると、死に至る可能性もあるため、私たちは水分をたくさんとらなければならない。それは、夏だけではない。生きていく中では、一日の中で水分補給はとても大事になってくる。それは、人間だけではない。私たちと常に共存している、動物や植物もそうだ。この地球にいる全ての生き物が、水という大きな力で守られている。

私たちは、いつも生活を守ってくれている水をもっと大切にしていくべきではないだろうか。普段から水があると勘違いし、断水がおこるまえに気づけない、気づいていても行動に移さない私たちになるのか。水を大切にし、断水を少しでもなくそうと努力できる私たちになるのか。人それぞれ考えはあると思うが、今世界中には水が欲しくても簡単に手に入らない国がいくつもある。私たちが断水で嘆いているのが、どれだけ幸せなことかと、羨むほど厳しい環境で暮らしている人が何億人もいる。また、水は津波となり私たちの凶器にもなりかねない存在だというのに、牙を剝き出しにすることはあまりない。だからこそ、私たちの生活は地球上ではありえないほどの幸せに包まれている。

目が覚めると、緑あふれる山。涼しげに青空を泳ぐ鳥。覗いてみると自分の顔が写ってしまうほど、透き通った海。それが、私の見ている景色だ。そして、この地球上に広がる大自然と私たちの生活が守られているのは、水のおかげであることを忘れてはいけない。私は水に守られる立場から、水を守れる立場になって、私の周りにある美しい自然を見続けていきたい。